



非正規雇用は増え、賃金は下がり、若者の間に閉塞感が広がっています。その原因は経済システムが時代遅れだからです。視野を広げて、まっとうな雇用システムとは何かを考え、目の前に漂う霧を吹き払いましょう。

●土屋 芳久 氏

独自の視点で経済を読み解き、解決策を探る在野の経済研究家。

1949 年生まれ。二児の父。慶応大学経済学部卒。プラント建設会社、東京都庁を経て、イギリス、イスラエル、デンマーク、アメリカ、ブラジルなどで働き、世界を5年間回る。

帰国後、千葉県で、ガン患者やアトピーの児童のために有機農業を始め、考える農業者のグループ、アジアに開く会ほか、各種ボランティア活動などに関わる。

1985 年から原子力発電の実態を知らせ、被曝労働者を支援する運動も続けている。

皆が持ち味を発揮し、心豊かに暮らせる社会を創ることが目標。